

「地震予知の100年」を読んで

近藤 節夫

いつ身近に襲ってくるか分からない地震。4月号の特集と付録の震災マップを見て、ドキッとさせられました。マップにも紹介されている1999年8月のトルコ大地震は、私自身もトロイア遺跡の近くで体験しました。

就寝中の明け方にドカーンと大きく揺れ、続いてホテルの外のざわめきと騒音で目が覚めました。慌てて外へ出ると余震はまだ続いていました。イスタンブールへ戻ってみると、崩壊した近代的ビルとは対照的に、中世イスラム社会を象徴するモスクは、びくともしていませんでした。地下宮殿も、普段と変わらず地下に豊かな水をたたえたままでした。由緒あるモスクは、日本で昨今世間を騒がせている耐震構造偽装や、手抜き建築とは一切無縁だったのです。